

2026.9 Vol.124

ふれあい

茨城

CONTENTS

# 1 協会事業

茨城県留学生親善大使任命式を行いました

# 2-3 GLOBAL VIEW

茨城県留学生親善大使に聞きました!

# 4-5 交流の広場

わが町の外国人リーダー

YOUNG EYES/ACROSS CULTURE

# 地球だより

豊かな文明遺産を語るシリアの遺跡とその特徴

# 6

# 県だより

「外国人政策チーム」が設置されました

# 7

for you... お知らせ

# 8

Said & Did

## 茨城県留学生親善大使任命式を行いました

茨城県国際交流協会では、国際交流に意欲のある県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命しています。親善大使には、当協会が実施する事業などに参加していただくことで、地域住民との交流や茨城県の魅力に触れる機会を提供しています。キャンパス内では得られないさまざまな体験を通して、茨城県への理解を深め、愛着を持っていただくことを目指しています。

7月4日(土)に任命式を開催し、今年度新たに50名を親善大使として任命しました。これにより、継続して活動している大使を含め、23の国と地域、計85名が親善大使として活動します。また、これにあわせて、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の留学生地域交流事業の一環として、茨城県での地域交流活動に意欲のある東京都在住の留学生17名(13か国)を「いばらき応援大使」に任命しました。

任命された大使からは、「親善大使としての活動を通して、地域の皆さんや他の留学生との交流を深めていきたい」「自国の魅力を楽しく分かりやすく紹介するとともに、自分自身も日本についてさらに学んでいきたい」など、今後の活動への意欲や抱負が語られました。

ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業に申請し、学校や生涯学習で留学生親善大使、各国事情紹介講師と交流しませんか。詳しくは以下QRコードから。



茨城県留学生親善大使・いばらき応援大使 任命式



「ワールドキャラバン  
国際理解教育講師等  
派遣事業」QRコード



任命証の授与



交流会

# GLOBAL VIEW

## 特集 茨城県留学生親善大使に聞きました！

茨城県国際交流協会は、県内に所在する大学等に在籍し、地域との交流に意欲的な留学生を「茨城県留学生親善大使」として毎年任命しています。国際交流に積極的な留学生の考え方を知り事業等に生かすため、アンケートを行いました。結果の一部をご紹介します。

調査時期：2026年7月、対象：親善大使85人（大学、大学院、高校、日本語学校）、方法：日英併記の質問フォームに回答、回答者：32人（回収率38%）  
紙面の都合上、上位4項目までの回答を表示します。回答が自由記述のものは傾向を分類しました。

### 回答者の国籍 (国連順)

アルゼンチン、中国、エジプト、ガーナ、インド、インドネシア、キルギス、モンゴル、ミャンマー、韓国、セーシェル、スリランカ、ウクライナ、ウズベキスタン、ベトナム

### 所属等別 人数



|               |             |
|---------------|-------------|
| 大学（学部）        | 11人 / 34.4% |
| 交換留学（高校1、大学6） | 7人 / 21.9%  |
| 大学院（修士）       | 5人 / 15.6%  |
| 日本語学校         | 4人 / 12.5%  |
| 大学院（博士）       | 3人 / 9.4%   |
| 大学（研究生等）      | 2人 / 6.3%   |

### 来日してどれくらい？

|      |             |
|------|-------------|
| 1～2年 | 15人 / 46.9% |
| 3年以上 | 10人 / 31.3% |
| 2～3年 | 4人 / 12.5%  |
| 半年未満 | 3人 / 9.4%   |



### 大使としてやってみたいことは何ですか？

|                           |             |
|---------------------------|-------------|
| ワールドキャラバンで子どもたちに母国の紹介をしたい | 24人 / 75.0% |
| クエスト研修で出かけたい              | 20人 / 62.5% |
| 他大学の留学生と交流したい             | 17人 / 53.1% |
| ふるさとファミリー事業で茨城でホームステイしたい  | 12人 / 37.5% |



### 日本や日本人のここが好き、 は何ですか？

|               |             |
|---------------|-------------|
| 人柄・姿勢（親切・礼儀等） | 22人 / 68.8% |
| 治安・安全・住みやすさ   | 11人 / 34.4% |
| 清潔さ・街のきれいさ    | 9人 / 28.1%  |
| 自然・四季・気候      | 8人 / 25.0%  |
| 文化・歴史・考え方     | 8人 / 25.0%  |

「人柄（親切さ・礼儀正しさ・思いやり）」が全体の約7割と多い。「治安の良さ」や「街の清潔さ・美しさ」も多く、留学生にとって安心で快適な環境といえそうです。「四季や自然の美しさ」「和食」「おもてなしや生きがいなどの独自の文化・価値観」も日本の魅力とされています。実際の記述は「日本の安全さと、時間をきちんと守る文化が好きです。また、日本人は礼儀正しくて、相手のことをよく考えて行動するところが素晴らしいと思います。」などでした。

### 茨城の大学を留学先に選んだ理由は何ですか？ (2つまで回答可)

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 生活しやすい環境だから     | 10人 / 31.3% |
| 自分の専攻分野が合致したから  | 8人 / 25.0%  |
| 研究に適した指導教官がいたから | 6人 / 18.8%  |
| 奨学金を得られたから      | 5人 / 15.6%  |



「生活しやすい環境だから」が一番多いです。「専攻分野の合致」や「指導教官」など学術的・研究面の理由が次に多いです。

### あなたが茨城に来て魅力に 感じることは何ですか？(3つまで回答可)

|              |             |
|--------------|-------------|
| 自然が美しい       | 26人 / 81.3% |
| 安心・安全に生活できる  | 22人 / 68.8% |
| 利便性が高く暮らしやすい | 14人 / 43.8% |
| 人柄がよい        | 10人 / 31.3% |

### あなたは将来、 日本で就職したいですか？

|     |             |
|-----|-------------|
| はい  | 30人 / 93.8% |
| いいえ | 2人 / 6.3%   |

### あなたは茨城で就職したいと 考えていますか？

|       |             |
|-------|-------------|
| はい    | 15人 / 50.0% |
| いいえ   | 1人 / 3.3%   |
| わからない | 14人 / 46.7% |

### 日本で働きたい理由は何ですか？ (2つまで回答可)

|                |             |
|----------------|-------------|
| 衣食住の環境が良い      | 14人 / 46.7% |
| 日本語を使って仕事したい   | 9人 / 30.0%  |
| 日本企業の海外拠点で働きたい | 6人 / 20.0%  |
| 日本の文化が好きだから    | 6人 / 20.0%  |
| 日本企業の技術力が高い    | 5人 / 16.7%  |



## 母国では日本の何が有名ですか？



ポップカルチャー (アニメ・漫画等) ██████████ (22人/68.8%)

食文化 (寿司・抹茶等) ██████████ (14人/43.8%)

自然・観光・風物詩 (桜等) ██████████ (11人/34.4%)

工業製品・技術 (車・家電等) ██████████ (9人/28.1%)

「アニメ・漫画などのポップカルチャー」が多いです。若年層を中心とした日本アニメの認知度と人気の高さがうかがえます。「寿司や抹茶などの食文化」、「桜や富士山といった日本の象徴的な風景・伝統」など、文化・観光面が次いで多いです。産業・技術面では「トヨタなどの自動車」や「家電製品」、それらに裏付けられた「品質の高さ・技術力」の認識があるようです。



## もし100万円もらえたら、何に使いますか？

旅行・観光・文化体験 ██████████ (15人/46.9%)

教育・学費・自己投資・研究 ██████████ (14人/43.8%)

貯蓄・投資 (資産運用) ██████████ (12人/37.5%)

社会貢献・寄付・ボランティア ██████████ (8人/25.0%)



## 日本や日本人のここが母国とは違う、は何ですか？



人との距離感・控えめさ・本音と建前 ██████████ (13人/40.6%)

気配り・マナー・配慮 ██████████ (9人/28.1%)

静かさ vs にぎやかさ ██████████ (7人/21.9%)

気候・自然・地理 (四季・海など) ██████████ (6人/18.8%)

「旅行・観光」と「教育・自己投資」が多く、日本国内をめぐって視野を広げたいという思いや、学費・研究・語学力の向上にあてたいという学習意欲の高さがあります。単に自分のためだけでなく、「社会貢献・寄付・他者への支援」(医療福祉支援や困っている留学生・がん患者への寄付など)や「起業・文化交流イベント」など、周囲や社会にインパクトを与えることや志が高い内容が目立ちました。

貯金します。金額自体はまったく問題ではないと思います。何かを変えるためには、人々とはつながらず、イベントを企画する必要があります。すべてがうまくいったら、そのお金を文化交流のためのイベントの開催に使いたいと思っています。日本で急速に広がりつつある外国人の偏見やマイナスイメージを払拭したいのです。マナーの悪い観光客も一部にはいますが、日本に滞在したいと思っている外国人のほとんどは、日本を心から、深く愛しているのだとみんなに伝えたいです。

(インド・大学院生、原文英語)

## 親善大使を紹介します



### ファリダさん セーシェル出身

筑波大学大学院  
人間総合科学研究群博士前期課程

セーシェルはアフリカ大陸の東、インド洋に浮かんだ115の島々からなるとても小さな国です。日本ではほとんど知られていませんが、美しい自然、

ヨーロッパ・アフリカ・アジアの要素が混ざり合った「クレオール文化」など、伝えたい魅力がいっぱいあります。

是非皆さんとつながり交流したいです。セーシェルについて知ってもらいたいです。私がセーシェルを代表して人々の誇りと喜びを皆さんにお伝えします。



### アイケンさん インドネシア出身

筑波大学  
生命環境学群

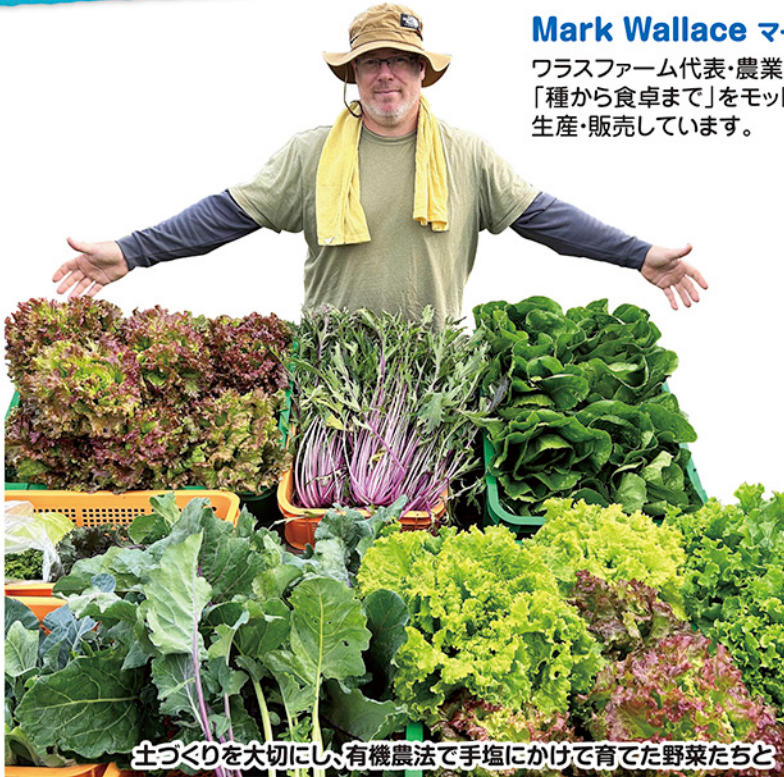
現在、三井物産奨学生として、気候変動と環境問題を研究するため環境工学を学んでいます。環境問題は今世紀の重要課題です。持続可能な世界の

ためのコンサルタントになることを目指しています。

高校生の時に(公財)イオン1%クラブ主催アジアユースリーダーズに参加し、日本を含むアジア各国の高校生が英語を共通言語として、社会問題の解決策を議論・提案する国際プログラムに参加しました。

皆さんとの交流を通してインドネシアと日本の架け橋になりたいです。単なる文化紹介だけでなく、環境問題についても、日本ではどうか、インドネシアではどうか、皆さんと意見を交わしたいと思います。交流を楽しみにしています。

## わが町の外国人リーダー



土づくりを大切に、有機農法で手塩にかけて育てた野菜たちと

**Mark Wallace マーク・ワラス (出身国:アメリカ / 在住歴:32年)**

ワラスファーム代表・農業、JA水戸有機農業研究会所属  
「種から食卓まで」をモットーに、化学肥料や農薬を使わず、安心安全な朝採り野菜を生産・販売しています。

### マークさんを紹介いたします

既存の枠にとらわれず、日本の農業課題に真摯に、そして情熱的に挑み続けるマークさんの姿勢にはいつも深い感銘を受けています。ワラスファームが描く持続可能で活気ある農業のビジョンは、これからの地域農業を牽引する大きな希望です。次の時代を担う農業人材を育てる鯉淵学園として、これからも良き理解者、そして力強いパートナーとして、共に茨城の、そして日本の農業を盛り上げていきましょう!

学校法人 鯉淵学園農業栄養専門学校  
理事 常井 孝之



種から育てたポップコーンは  
手作りキャラメルソース味が押し

農業を始める前は、約30年間、IT・サイバーセキュリティ分野で仕事をしていました。

私が農業を始めたきっかけは、食の安全と未来の農業について真剣に考えるようになったことでした。

日本で親しくしていた友人が仕事で脳動脈瘤で突然亡くなり、そのほかにも、がんや心臓の病気で亡くなった友人がいました。その出来事をきっかけに、健康や毎日の食生活、そして私たちが口にしている食べ物がどのように作られているのかを深く考えるようになりました。

ある日、スーパーで野菜を見ながら、「この野菜はどのように育てられたのだろう」「どこで栽培され、どれほど長い距離を運ばれてきたのだろう」と考えました。そして、「家族が安心して食べられるものを、自分自身の手で育てたい」という思いから農業を始めました。

現在は、農薬や化学肥料に頼らず、土本来の力を大切に自然栽培に取り組んでいます。私にとって一番大切なのは野菜ではなく、「健康な土」を育てることです。良い土があってこそ、おいしく、安心して食べられる農産物が育つと信じています。

農園では、じゃがいも、ブルーベリー、かぼちゃ、トマト、きゅうり、パプリカをはじめ、さまざまな葉物野菜など、年間を通して多品目の農産物を栽培しています。また、育てるだけではなく、自分たちで育てた作物を活かした加工品づくりにも力を入れており、自家製ポテトチップス、キャラメルポップコーン、麦茶、クッキーなども一つひとつ手作りしています。

収穫した農産物を自ら加工・販売する「六次産業化」に取り組むことで、「種から食卓まで」を自分たちの手をつなぎ、生産者として責任を持ちながら、お客様に安心して楽しんでいただける商品づくりを目指しています。

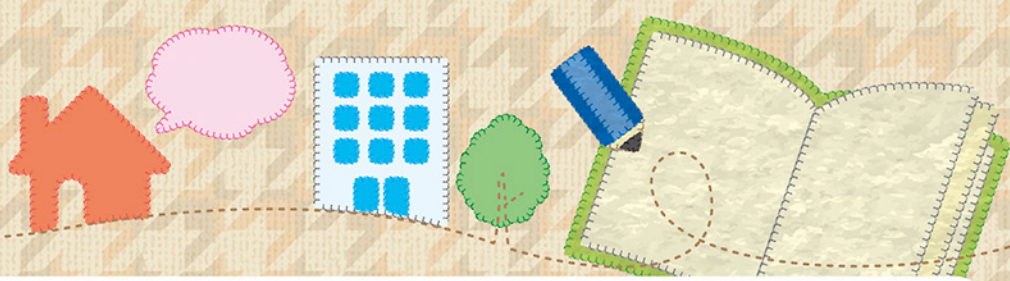
私の夢は、安心して食べられる農産物を届けるだけではありません。農業を次の世代が夢を持って挑戦できる仕事にし、地域とともに持続可能な農業を育てていくことです。そして、子どもや孫の世代へ、豊かな自然と健康な食文化、そして未来につながる農業を残していきたいと願っています。

Instagram @wallace\_farm\_mito



WALLACE\_FARM\_MITO

# の広場



## YOUNG EYES

### 「人の命とは何なのか。救助活動とは何なのか。」

茨城県立勝田中等教育学校 6年次 吉田 千紘



私が高校生英語弁論大会で発表したスピーチは、この問いから始まりました。消防士は、目の前で助けを必要としている人が誰でも救助します。実際に日本やイギリスの消防理念には、公平性や平等なサービスの提供が掲げられています。私たちは、命を救うという行為は本来そのようなものであると考えています。

しかし、「人を助ける」という行為がより大きな規模になると、その理想は必ずしも実現されません。私はスピーチの中で、シリア内戦とロシアによるウクライナ侵攻を取り上げ、難民支援のあり方を比較しました。難民支援は、政府や国際機関、NGOなど多くの組織を介して行われるため、支援する国々の政治的・経済的な利害関係の影響を受けやすくなります。その結果、同じように故郷を追われた人々であっても、受けられる支援の量や注目度に差が生じることがあります。

もちろん、各国が自国の利益を考えること自体は自然なことです。しかし、人道支援の目的は本来、人々の命と尊厳を守ることにあります。だからこそ私は、難民支援に関わるすべての人々がこうした現実を認識しながらも、「誰を助けるか」ではなく「誰が助けを必要としているか」という視点を大切にすべきだと考えています。

人の命の価値は、生まれた国や政治的な状況によって変わるものではありません。支援が必要な人へ公平に手を差し伸べられる社会こそ、私たちが目指すべき姿なのではないでしょうか。

## ACROSS CULTURE ここが違って面白い!

### マニジャ・ラジャボワ

筑波大学大学院 人文社会科学研究群博士課程

こんにちは。私はマニジャ・ラジャボワです。タジキスタン出身で、現在は筑波大学大学院で国際公共政策を専攻する博士課程の学生です。研究テーマは移民研究です。

私と日本とのつながりは、2019年に短期交流プログラムで初めて日本を訪れたことから始まりました。その際、東京、京都、大阪を訪れ、いくつかの教育機関を見学しました。日本の教育制度や、都市や街が細やかに整備されている様子に深く感銘を受けました。また、少し個人的な理由もあります。私は子どもの頃に『美少女戦士セーラームーン』を見て育ち、日本への憧れをずっと抱いていました。帰国後は中央アジアにある日本関係団体で熱心に活動し、その後、文部科学省(MEXT)奨学金をいただいて日本へ留学し、修士課程に進学しました。そして現在は博士課程で研究を続けています。

日本に来て特に驚いたことはふたつあります。ひとつ目は建築です。東京では、東京スカイツリーのような最先端の高層建築のすぐ近くに、何百年もの歴史を持つ神社やお寺が静かにたたずんでいます。伝統と現代が自然に共存している光景はとても印象的でした。一方、タジ



国会議事堂

キスタンでは古い建物と新しい建物は別々の地域にあることが多く、このように調和している様子はあまり見られません。

ふたつ目は食文化です。日本料理は魚介類を使ったあっさりした料理が多い一方、タジキスタン料理は「オシュ(中央アジア全域で親しまれている炊き込みご飯)」や「サンプサ(スパイスで味付けしたひき肉と玉ねぎをパイ生地や薄い生地で包み、香ばしく焼き上げた伝統的な包み焼き料理)」など、牛肉を使ったボリュームのある料理が中心で、油を多く使う傾向があります。今でもその違いには驚かされることがあります。

将来の目標は大学教員になることです。学生一人ひとりが興味を持つ研究に取り組めるよう支え、その可能性を伸ばす手助けをしたいと考えています。私自身も、日本政府の奨学金をはじめ、多くの方々の支えによって今の学びの機会を得ることができました。いつか私も、同じように次の世代を支えられる存在になりたいと思っています。



イスマイル・ソモニ像

## 豊かな文明遺産を物語るシリアの遺跡とその特徴

ダマスカス大学日本語日本文学科教員 ナーヘド・アルメリ(元茨城県留学生親善大使)

私は2011年に日本に留学し、2020年に博士号を取得するまで日本に10年も暮らしました。日本にいた時に、出身国を尋ねられ、シリアだと答えると、シリアという国名すら知らない人もいれば、戦争と破壊以外のイメージを全く持たない人もいました。後に私が交流し、時間を共に過ごした日本人の皆さんは、興味をもってくれ、シリアについてより深く知ることになってくれました。ここでは、シリアの魅力的な側面の一つである古代遺跡とその特徴についてご紹介いたします。

シリアの遺跡は、粘土板に刻まれたマリ文書などメソポタミアとシリアの政治・外交を今に伝える外交文書館、古典期(ローマ・ギリシャ)の都市、そして隊商路(シルクロードといったキャラバンロード)として位置づけられたことで融合した宗教的・芸術的影響など、文化的・商業的な多様性を特徴としています。たとえば、シリアは古代王国の遺跡(エブラやマリなど)で有名であり、粘土製の文書庫(歴史上最古の外交文書)や、玄武岩の彫刻、豊穣の神々を祀る神殿などを誇っています。これらの考古学的遺物は世俗生活、外交、そして交易に焦点を当てています。

また、シリアは、アジア、ヨーロッパ、アフリカの交差点に位置するため、開放的で双方向的な建築が特徴的です。建築はメソポタミア、フェニキア、ギリシャ、ローマの芸術の影響を受けています。

シリアは幾重にも重なる文明の層を誇ります。石器時代の発祥地であり、カナン人、アラム人、アムル人の遺跡が残され、ローマ時代の都市やイスラム宮殿に至るまで、様々な文明が栄えました。シリアには、そういった古代文明の変遷を物語る、ユネスコ世界遺産に登録された主要な遺跡が6つあります。実際に自分の目で見るほうがその迫力を感じることができますが、ユネスコ世界遺産センターの公式ウェブサイトには、これらの遺跡の写真が多数掲載されているので、是非ご覧ください。



ホムス県タドモル 古代世界で最も重要な文化中心地のひとつであった砂漠のオアシス、パルミラの壮大な遺跡群



北西部ハマー県のオレンテス川沿いにある水汲み水車



世界最大の石鹸の前で(アレppo石鹸、所有する店「ダッカ カディマ(古代の精密技術)」にて)



アレppo県の県都アレppoの歴史的な城塞



北西部ハマー県にありオロンテス川を見下ろせるシャイザール城にて

ユネスコ世界遺産センターのサイト  
<https://whc.unesco.org/ja/list/?iso=sy&search=&>



## 「外国人政策チーム」が設置されました

茨城県県民生活環境部外国人政策チーム

本県で暮らす外国人は、11万人を超え(2025年末時点)、10年で倍増しました。茨城県では「多様な人材」が活躍できる社会の実現を目指し、外国人に係る各種施策を総合的に推進し、外国人との秩序ある共生社会を実現するため、2026年度から県民生活環境部に「外国人政策チーム」を設置しました。

外国人コミュニティ等への訪問による生活ルールの啓発や、外国人住民の生活上の困りごとに母語で対応するサポーター制度の推進などに取り組んでいます。

取組の詳細については、県ホームページをご覧ください。



県ホームページは  
こちらから

# for you...

## 外国人のための休日無料専門家相談会

毎年、県内各地で、複雑な問題を抱える外国人を対象に専門家相談会（通訳付き）を開催しています。当日は、母国語で直接相談できますので、専門家のアドバイスが必要な方は、ぜひこの機会をご利用ください。

今後の相談会の実施予定は、下記のとおりです。

### 1.【外国人のための一日無料専門家相談IN筑西】

日時 令和8年10月18日(日) 10:00～15:00(受付14:30まで)  
場所 しもだて地域交流センター アルテリオ(筑西市丙372)

### 2.【外国人のための一日無料専門家相談IN土浦】

日時 令和8年11月29日(日) 10:00～15:00(受付14:30まで)  
場所 土浦市役所(土浦市大和町9-1)

相談担当：茨城県弁護士会所属弁護士、  
東京出入国在留管理局職員、行政書士、  
社会保険労務士、外国人相談センター相談員

相談内容：在留資格、労働問題、結婚、税金、保険、  
その他生活全般  
※相談無料、秘密厳守、通訳付き

対応言語：日本語、英語、中国語、タイ語、タガログ語、  
ポルトガル語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、  
ベトナム語、シンハラ語  
※その他の言語は翻訳機等で対応

問合せ先 (公財) 茨城県国際交流協会 外国人相談センター  
TEL 029-244-3811 (当日の連絡先：070-4002-2547)

## バナー広告募集中!

当協会ホームページのトップページにバナー広告を掲載することができます。国際交流や多文化共生等に興味がある方や、生活情報などを求める外国籍の方々に多く閲覧されている当協会のホームページを通して、あなたの会社や事業をPRしてみませんか。

なお、バナー広告料収入は、協会の様々な事業に有意義に使わせていただきます。



### ●令和8年度 団体賛助会員(令和8年7月末現在)※敬称略

|                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 株式会社旭物産                    | JA茨城県中央会               |
| イガラシ綜業株式会社                 | 株式会社常陽銀行               |
| 石岡商工会議所                    | 常陽トータルサービス株式会社         |
| イソザキ株式会社                   | 昭和建設株式会社               |
| いばらき印刷株式会社                 | 鈴縫工業株式会社               |
| 茨城グローブシップ株式会社              | 関商事株式会社                |
| 一般社団法人茨城県医師会               | 株式会社高野高速印刷             |
| 公益財団法人茨城県開発公社              | 社会医療法人 達生堂 城西病院        |
| 茨城県火災共済協同組合                | 筑西市国際友好協会              |
| 茨城県観光物産協会                  | チョッサラ                  |
| 茨城県行政書士会                   | 株式会社筑波銀行               |
| 一般社団法人茨城県経営者協会             | 株式会社つくば研究支援センター        |
| 一般財団法人茨城県建設技術公社            | 電機連合茨城地方協議会            |
| 茨城県市長会                     | 那珂市国際交流協会              |
| 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会           | 日本原子力発電株式会社東海事業本部地域共生部 |
| 茨城県商工会議所連合会                | 日本語学校つくばスマイル           |
| 茨城県商工会連合会                  | 日本語ゆめラボ                |
| 茨城県信用組合                    | 日本労働組合総連合会茨城県連合会       |
| 茨城県信用保証協会                  | ヌーベルアージュ株式会社           |
| 茨城県青年海外協力隊を育てる会            | ヌーベルキャリア株式会社           |
| 茨城県世界青年コミュニケーションクラブ(WYCCI) | ヌーベルメディア株式会社           |
| 茨城県中小企業団体中央会               | ハンサラン                  |
| 茨城県町村会                     | 常陸大宮市国際交流協会            |
| 茨城県日中友好協会                  | 日立商工会議所                |
| 茨城交通株式会社                   | 広沢商事株式会社               |
| 株式会社茨城ポートオーソリティ            | フレンドリーあず               |
| 茨城町国際交流協会                  | フレンドリージャパンワールド         |
| 株式会社茨城読売IS                 | 水戸内原国際交流ふれあいの会         |
| 鹿島埠頭株式会社                   | 水戸商工会議所                |
| 鹿島臨海鉄道株式会社                 | メサフレンドシップ              |
| 株式会社要建設                    | 株式会社ライフサポート山野          |
| Global Exchange Education  | 株式会社ルックアップ             |
| 株式会社光和印刷                   | 国際交流おもてなし「瑠璃の会」        |
| 古河市国際交流協会                  |                        |
| 国際ソロボチミストつくば               |                        |

計68団体

皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

## 賛助会員を募集しています!

会員になると、機関誌「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

|      |      |                  |
|------|------|------------------|
| 賛助会費 | 団体会員 | 1口 10,000円(1口以上) |
|      | 個人会員 | 1口 3,000円(1口以上)  |



※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。

## 外国人相談センター

下表のとおり、外国人相談センターの体制が変わりました。

| 月曜日                | 火曜日   | 水曜日        | 木曜日                                    | 金曜日                  |
|--------------------|-------|------------|----------------------------------------|----------------------|
| 日本語・英語・その他         |       |            |                                        |                      |
| ベトナム語              | スペイン語 | タイ語<br>中国語 | タガログ語<br>ポルトガル語(第2・4)<br>インドネシア語(第1・3) | タイ語                  |
| 中国語<br>13:30～17:00 |       |            |                                        | シンハラ語<br>13:30～17:00 |

●電話：029-244-3811 ●時間：月曜～金曜日(祝日及び年末年始を除く) 8:30～17:00

# Said & Did

～茨城県から88カ国1200人以上が  
参加しているJICA海外協力隊～

JICA海外協力隊は知識や技術、経験を開発途上国の人々のために生かしたいという方を募集し、選考・訓練を経て派遣する国際協力事業。

詳細は  
こちら▶



問合せ先 JICA茨城デスク((公財)茨城県国際交流協会内)勝村  
電話番号 029-241-1611  
Eメール jicadpd-desk-ibaraken@jica.go.jp

## 第1回クエスト茨城留学生研修を実施しました



梅染め体験からつながる世界の輪

## ネットワーク会議を開催しました



ネットワーク会議

7月17日(金)、県内の市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体を対象に、「令和8年度国際交流・協力ネットワーク会議」が対面形式で開催され、総勢124名の方々が参加しました。

全体会の基調講演では、一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏をお迎えし、「これからの多文化共生社会と求められる取り組み～グローバル化の進展と国際交流への期待～」と題してご講演いただきました。人口減少が進む地域社会での多様な人材の重要性や、外国人住民を地域の一員として捉え共に歩む多文化共生社会の実現に向けた取り組みについてお話しいただきました。

午後は3つの分科会に分かれ、各テーマに沿って事例発表やワークショップ、講義などが行われました。第1分科会では、外国にルーツをもつ6名のゲストをお招きし、日本や日本人に対して感じていることや地域活動についての意見交換を行い、魅力ある地域づくりに向けた多くのヒントを得ることができました。第2分科会では、JICAから3名の講師をお招きし、ルワンダを題材としたカルタを使ったワークショップを実施し、身近な「モノ」を通して外国とのつながりを実感しながら国際理解教育への気づきを深めました。第3分科会では、常磐大学の飯野令子教授をお迎えして多文化共生と「日本語教育の参照枠」について分かりやすく解説いただいた後、参加者が最近関わった外国人住民の背景や支援内容を振り返り、外国人を地域の一員として捉え直した上で、今後の関わり方や支援のあり方をどのように見直し、発展させていくかについて活発なディスカッションが行われました。

この会議が参加した皆さんの今後の活動やネットワークづくりの良い機会となれば幸いです。

夏のクエスト茨城留学生研修を7月11日(土)に実施しました。本ツアーは、留学生が茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生活を送ることを目的としており、11カ国30名が参加しました。

今回は、梅染め体験とアクアワールド茨城県大洗水族館見学を実施しました。

梅染め体験では、水戸市・偕楽園の梅の木を剪定した枝から作られた染液を使い、手ぬぐいの絞り染めに挑戦しました。それぞれが工夫を凝らした模様を染め上げ、淡いピンク色の個性豊かな作品が完成しました。参加した留学生からは、「梅染め体験は初めてでしたが、とても楽しかったです。模様や色が少しずつ変わっていく様子が面白く、完成した作品にも満足しました」「ボランティアの皆さんはとても親切で、丁寧に教えてくださり、楽しく交流できました」といった感想が寄せられました。

アクアワールド茨城県大洗水族館では、日本トップクラスの規模を誇る水槽展示や多彩な海の生き物を見学しました。参加者からは、「海に近く、波の音が心地よく、とても癒やされました」「いろいろな海の生き物を見ることができて、とても楽しかったです」などの感想が寄せられました。

今回の研修を通して、留学生たちは茨城ならではの自然や文化に触れ、新たな魅力を発見するとともに、茨城県への理解と愛着を一層深める機会となりました。

## 編集・発行



(公財)茨城県国際交流協会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745

ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2F

TEL:029-241-1611 FAX:029-241-7611

ホームページ <https://www.ia-ibaraki.or.jp>

メールアドレス [iaa@ia-ibaraki.or.jp](mailto:iaa@ia-ibaraki.or.jp)